第4学年　国語科授業案

場所　4年教室　授業者　4年❷

・・・

１　単　　　元　　　だんだん楽に　段落発見！～「ヤドカリとイソギンチャク」～

２　本時の目標

・段落どうしの結びつきを考えながら、「中」を意味段落のまとまりに分けることができる。（読むこと）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習形態 | アンプラグドプログラミング | | 使用機器 | タブレット端末、大型テレビ、ＨＤＭＩケーブル |
| プログラミング的思考とのつながり | | クラゲチャートを用いて、いろいろな視点から理由や根拠を考え、書き出すことで、論理的に考え、説明したり説得したりする力を高める。 | | |

３　展　開

ー１６ー

|  |  |
| --- | --- |
| 時  間 | 学　　習　　活　　動　　　　　　　※教師の支援　◆ＩＣＴ機器の活用　☆評価  ※どこでまとまりになるのだろうと考えながら音読できるように、接続語や内容に注意して音読するように伝える。  ※根拠をもってまとまりに分けられるように、クラゲチャートを用いる。 |
| ５  20  ・「中」の３つのまとまりがはっきりするね  ・「問い」と「答え」の段落が繰り返されているよ  40 | 「中」の部分を、理由を考えながら３つのまとまりに分けよう  なぜだろう7  ○「中」の部分を音読しよう  ○自分なりにまとまりに分けたものを、グループで伝え合おう  ・②～⑤、⑥～⑨、⑩～⑪だと思うよ  ・②～⑥、⑦～⑨、⑩～⑪に分けられそうだね  ⑪⑩⑨⑧⑦⑥⑤④③②  ⑪⑩⑨⑧⑦⑥⑤④③②  まとまり  まとまりに  分けた根拠  まとまりに分けた根拠  まとまりに分けた根拠  ＜根拠＞  **[内容]**  ・実験をしているところと、観察をしているところは、別のまとまりだと思う  ・ヤドカリに注目して書いてあるところと、イソギンチャクに注目して書いてあるところがあって、内容が分かれているよ  ・④と⑤は、たこを使った実験のことで、つながりがありそうだよ  **[問いと答え]**  ・「～でしょうか」とたずねている  文で話が変わると思う  ・「問い」のあとは、全体的に答えかな  **[接続語・指示語]**  ・「では」は、話題を変えたいときに使うから、ここで分かれるよ  ・「このこと」というのは、前の段落のことを指している  ・「まず」「次に」は、話がつながっ  ているよ  ※3つのまとまりの根拠として、問いの文があることだけに集中してしまう場合は、段落どうしのつながりの根拠も考えるよう助言する。  ※話し合いで自分の考えを伝えられない子には、机間指導で対話をしながら  自分の意見を伝えられるように支援する。  ◆話し合う意欲を高めるために、グループで話し合った分け方（クラゲの頭部）をタブレット端末に書き、一覧表示する。  ※３つのまとまりの構成に目を向けるために、「答え」に着目できていない場合は、「問い」に対する「答え」の段落はどこか問う。  ※段落どうしの結びつきから一つのまとまりがとらえやすくなるように、板書で「問い」－「答え」をカードで明示し、まとまりを視覚的にわかりやすく囲む。  ・どちらの分け方がいいのかな  ・⑥は前と後とどちらのまとまりになるかな  ○「中」の３つの分け方をみんなで話し合ってはっきりしよう  ・問いの文のところから次のまとまりだよ  ・「実は」の⑥段落は、イソギンチャクのはりのことで⑦も続いているよ  ・⑥段落は②段落の問いの答えになっているんだ  ②　なぜ～でしょうか  ③　実験をしました  ④　まず  ⑤　次に  ⑥　実は  ⑦　どうやって～でしょうか  ⑧　観察しました  ⑨　イソギンチャクの付け方  ⑩　何か～でしょうか  ⑪　その結果・・・  ①　イソギンチャクをつけているヤドカリ  問い  はじめ  おわり  中  ⑫　互いに助け合って生きている  答え  問い  問い  答え  答え  ヤドカリ  ヤドカリ  イソギンチャク  ○授業の振り返りをし  よう  ・「問いから答え」のまとまりが3回繰り返されていてわかりやすい  　・「問い」からどうやって答えを出していったの詳しく読みかたいな  ☆問いと答えの段落を見つけて、「中」を３つのまとまりに分けることができたか（プリントや発言） |